

小規模校をなくす「学校統廃合計画」

今ある学校をなくさないで!

一昨年、畠山市長が「見直し」を表明して以来、この1年あまり「統廃合計画」の再検討が進められ、市民アンケートやワークショップ、地域公聴会をへて、今年3月の教育委員会で、新しい「学校施設の更新計画基本計画」が決定されました。小規模校を解消するために統廃合検討の開始が盛り込まれました。

新しい基本計画の方針は

「学校規模の適正化」として

- 小学校では
全ての学年で1学級(全体で6学級)の状態が
5年以上継続することが見込まれる場合
- 中学校では
学校全体で8学級以下の状態が
5年以上継続することが見込まれる場合
(いずれも特別支援学級数を含まない)

**小規模校を解消するため
統廃合の検討を開始する**

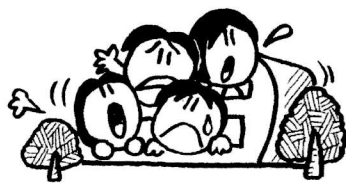
実施されたらこの学校が対象に!

- ◆平方北小(6学級)
- ◆尾山台小(6学級)
- ◆大石南中(6学級)は
ただちに統廃合を含む検討を開始!

それにとどまらず

- ◆上平北小(9学級)、大石南小(9学級)、
- ◆太平中(9学級)、大谷中(9学級)などは
今後、統廃合を進めることに

統廃合したら こんな心配が



●**学校規模がさらに大規模に**
大石南中をなくして大石中に統合すると、生徒数は1000人を超える大規模校が復活します。

●**特別支援学級の子どもたちは?**
過密な環境と遠距離通学を強いられます。徒歩通学は耐え難いものになります。

●**通学距離が遠距離に**
尾山台小、平方北小をなくすと、通学に1.5キロメートルを超える地域ができます。

●**学童保育、社会体育や地域の文化活動の場が足りない**
地域から学校がなくなれば、地域が衰退する心配が。

少人数学級・小さい規模の学校の良さを見直して

大きすぎる学校で問題が噴き出しています。上尾では不登校、暴力行為などが急増。不登校は中学校では12月までに304人(5.4%)と深刻です。大きい規模の学校では10%を超えるところも。規模が大きいほど決まりで縛ることが多く、きめ細やかな対応が難しくなります。

授業でも行事でも部活動でも、一人ひとりの活動の機会が少なくなります。施設利用も過密になり、トイレに行列ということも。学校が大きくなるほど、子どもたちは大きなストレスを感じます。子どもたちの声に、ていねいに対応できる少人数学級・小規模校の良さをいかす時です。